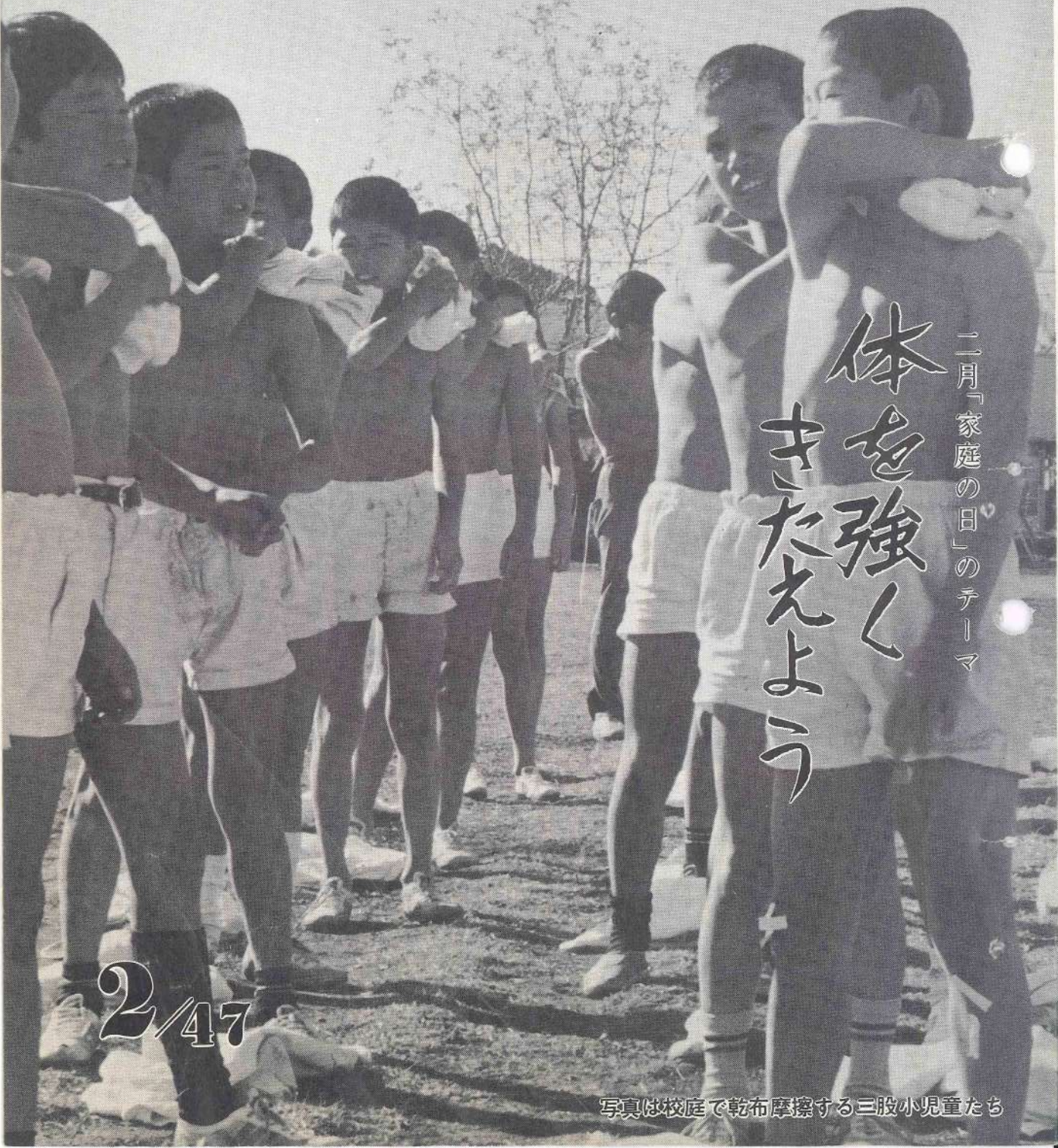




広報みまた



体を強く
きたえよう

二月「家庭の日」のテーマ

2/47

写真は校庭で乾布摩擦する三股小児童たち

前目と今市を結ぶ基幹道路

今市橋が完成



テープにハサミを入れる大河内町長と県代表

去る一月十五日、地域住民の希望の願いでありました農免道路今市橋の完成を記念して、盛大に祝賀式が行なわれました。
昭和四十年、農業用の揮発油税の身替りとして、農業用道路を新設する制度が発足。長年の懸案でありました今市橋は、この農免道路事業として昭和四十三年に農林省の採択をうけ、四年の年月を経て完成したものです。
この地域一帯は、水田一四〇ヘ



福重佐兵衛さん親子三代を先頭に渡りぞめ

クタール、沖水川を中にはさま、受益者三〇〇戸の農家はこれまで上流の岩下橋か下流の郡元橋を迂回して部落間の交流をはかり、農業にも非常に不便を欠いていただけに、完成を祝ってつめかけた住民のよろこびは隠しきれないものがありました。
特殊工法で架設された今市橋は、橋梁延長一七九メートル、巾員六メートル、工事費七、二〇〇万円。それに取付道路、今市側二

〇六メートル、前目側六八四メートル、総延長一、〇六九メートル、総事業費九、三八六万円で作成したものです。

これからは、長い間閉ざされていたこの地域が橋梁の架設によって、一挙に環境の整備、流通改善の基幹道路として、また、農産物の集出荷、市街地の最短路線として大きく発展していくことでしょう。

完成を祝う渡りぞめは瀬戸山三男、坂元親男両代議士も出席、県と大河内町長のハサミ入れのあと被付橋の前目、福重佐兵衛さん（八十四才）を先頭に親子三代と総出の部落民が長蛇の列をなし、閉けゆく前目、今市の前途を祝いました。



完成を祝って部落民の長蛇の列と今市橋全景

急ピッチで進む

町立病院の改築工事

— 〆五月末完成 —

三股町立病院が開設されたのは昭和二十九年十二月。過去十七年の間、内科、外科、産婦人科、歯科、眼科の診療科目と病床一般五十五、結核五十のベッドをもって、町民の保健医療行政に努めて参りました。

しかしながら、現在病院の老朽化とともに、地方自治体病院の経営は全体的に苦しい立場にありま

す。反面、最近の医療技術の進歩は目ざましく、病院の諸施設、設備の近代化は勿論、診療内容などについても充実とその対策が強く要求されています。

従前の施設規模ではとうてい時代の要請に対処しえない状態となり、これに因應するために、町当局は議会とともに再建にのり出し、医師の確保と併せて病院改築も既に現在の町立病院敷地内に昨年十一月十日建設に着工

▲ 改築工事を急ぐ町立病院

急ピッチで工事が進められています。新病院は鉄筋コンクリート二階建物延面積一、四七八、一五七平方メートル、内科、外科を中心に病室五十床、レントゲン、心電図、物療検査、薬局、調理

新病院長に木下氏が着任



機械、食堂、車庫の各室が設けられ、空調、冷暖房、電気、給排水、衛生設備も完備されることに

前病院長の山下博先生は、昭和三十七年から産婦人科医師として、また昭和四十五年からは病院院長として通算十年の間勤務していただきましたが近く開業される運びとなっており、昨年十二月末付け退任されました。

退任後も三月末までは嘱託医として、従来どおり勤務されることになっております。

ご承知のとおり、山下先生は過去、産婦人科医師として、また、病院長として学校衛生、福祉公益その他町民の健康全般についてお世話いただき、特に学校生徒の健康保全と体位向上および一般町民に対する衛生思

なっております。総工事費八千六百五十万円、竣工は本年五月三十一日となっております。

退任にあたり、輝かしい成果をおさめていただきましたご心労に對し、心から感謝申し上げます、今後の前途を祝福申し上げます。

なお、前山下病院長の後任として一月一日付け着任された木下富之助新病院長（五十才）は、長崎医科大学を卒業、内科医師として同付属病院に勤務、その他国立佐賀療養所内科医長などを歴任されております。

北九州市八幡区出身、家族は寛子夫人と一男一女の四人家族。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆ 診療科目が一部廃止されます

長い間、みなさんの診療にあたって参りました診療科目のうち、眼科と歯科はつききの期日まで診療、以後は廃止されます。
▼眼科……一月三十一日まで
▼歯科……二月二十九日まで
ご利用いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

三股東中の統廃合決まる

—(四月一日から三股中へ)—

去る一月十七日から十九日まで町議会が開かれて、三股東中の統廃合の件と有林地分の件の二議案が上程されました。町議会は、町の意志決定機関としての重責の上に立って慎重の上にも慎重な審議を重ねましたが、いづれも原案どおり可決されました。

この中で、三股東中の統廃合の件については、重要な問題だけに、終始熱をおびた活発な論戦が展開されましたが、これは、全町民から関心と期待が寄せられた議案でありましたので、これに対処するに町議会は、いかにしてこれに取り組んだか、その概要をお知らせしましょう。

住民の意志をふまえて

統合による教育効果を

既に、どなたも十分見聞されておられますように農村地帯の過疎化現象は、いちじるしいものがあります。

本町においても中央地区を除いた周辺地域においては、その現象が目立っております。最近における各学校の児童生徒数の急激な減少が端的にそれを物語っております。

勿論、長田地区においてもその例にもれず、三股東中学校の生徒数は、現在九十四名を数え、このまま推移しますと、おそらく五年後には、五十名程度以下になるであろうと考えられておられます。

したがって、このままいきますと、必然的に今後の学校教育にも支障を生じてきますので、これからの教育の均衡と効果を促進する為、この際、三股中学校へ統合した方が最も望ましいということ、この問題が提案されたものであります。

議会だより

町議会といたしましては、三股町教育史の一頁を画する重要な問題として、先ず地域住民の意志に基づいて、統合するか、しないかを決定しなければならぬという観点から、去る一月十八日全議員が現地におもむき、地域住民とひざを交えての懇談会を実施し、つぶさに腹藏のない意向を聴取いたしました。

すまして、町並びに教育委員会においては長期にわたって行政指導等が地道に実施され、去る十二月のアンケート結果は、条件付きを含めて六十三パーセントの統合賛成が見られ、その後、統合を前提とした地域住民の要望事項について、町との協定が行なわれましたが、その協定成立の時点では、ほとんどの住民が賛成の意向であるという確信が得られました。

このような住民の意志を十分ふまえながら、去る一月十九日の議会本会議においては、果して統合が長田地区の教育にプラスになるかどうか、真剣な論議が集中されましたが、結局の際、思いきって統合に踏みきった方が最良の方途であるとして、来る四月一日より統合することに決定いたしました。

東中の中学生よ —ただ一筋に勉学を—

それらの数々のできごと、思い出を胸にいざながら、いよいよ四月一日を期して廃校になるわけですが、その胸中はさぞかし郷愁にも似て、しめつけられるような淋しさを味わっておられることでありましょう。

それをじつと押えながら、統合に踏みきられたことは、ただ「何よりも、先ず子弟の教育を」その熱意がもたらしたものでありましょう。

私たちは、その心情を察すると、その熱意に敬意を表すとともに、「三股東中の中学生よ、苦難にめげず、ただ一筋に勉学に邁進せよ」と、心からの声援をおくりたいものであります。

実を結んだ国民年金制度

初の年金受給者は 上村シモさん

国民年金を目ざして昭和三十三年四月発足した拠出制国民年金制度は、昨年三月で満十年を迎え、いよいよ年金を受ける必要條件がそろった方に年金が支給されることになりました。

本町では上米、上村シモさん（

六十五才）がその受給者第一号として誕生。この意義ある老令年金受給者の誕生を記念して、一月十日町長室にお招きして大河内町長からこれまでの苦勞のねぎらいと、末長く健康で、しあわせな生活を送って下さいと激励し、老令年金証書が手渡されました。

年金証書を手にした上村さんは、国民年金制度が発足した当時の模様を「いろいろ説明会もありましたが関心が高かった。また、年金をいただくなどは夢にも思っていなかった」と、話しています。

しかし、将来をおもって夫婦共に加入し、毎月年金を払い込んだ甲斐があって、証書第一号交付のよるこびはひとしお。

更に交付のよるこびを「主人は二年前から障害年金をいただいています。私まで年金をいただくことになり、こんなに嬉しいことはございません。これからは国民年



▲年金証書第一号を受ける上村シモさん

あるご老人をたずねた時のことである。

「ご老人のお話しを聞いています、奥さんが出てこられて、どうぞ」と、すすめられた。

「さっかくおいでくださいったのだから、私の家の、とっておきのごちそうをいただきますから、もうちょっと待っててください……。」

「あら、またはじ小まった。」

「と奥さんが、大股で笑いながら言われると、

「いやいや、これは私の家にとっては一番のごちそうだからね。」

と、言って、ご老人は時計を見れば、何回も席はずされたしぼらしくして、

「どうぞ、どうぞ、とっておき、ごちそうができましたので、

ちよつと庭に出て下さい。……はやく、はやく。」

庭に出る。……ご老人は、庭より霧島山を、ゆびさして、

「先生、あの霧島を見てくださいますか。きれいでしょ。」

……霧島を見て、小林の人は、小林から見た霧島が一番きれいと言ふ。高城の人は、高城から山への口の人のは山之口から。都城の人は都城からと言いますが、私は、三股から見た霧島が一番きれいで味があると思ひますが、どうですか、先生……。」

夕やけにそまつた霧島山、そして霧島山に、いだかれた三股町の山や川、田や畑、みんな夕やけにそめられた、美しいながめでである。

霧島山を愛しているご老人は、そのまま、霧島山にいだかれては、わたしたちの町、三股町を愛していらっしやるのだと思つた。

……三股町の古里の山は、いつみても美しく、また、いつみても、あたたかくつんでくれる。

きびきびした動作と
美しい水の放列に歓声



三股町消防始め式

三股町消防始め式は、去る一月十四日午前九時から三股小グラウンドで盛大に行なわれました。
この日は、天気も快晴にめぐまれ、清永邦雄新団長以下約百四十五人（うち婦人消防団員十五人）消防車二台、小型ポンプ十三台が勢ぞろい、大河内町長が点検長となつて服装、機械器具など、団員は日ごろ訓練した規律正しい動作で点検を受けました。

このあと、都城自衛隊のラッパ隊を先頭に消防自動車、各部がそれぞれ五本松住宅団地東側広場までの約一キロのコースをパレード、町民に「火災から人命と財産を守ろう」を訴えました。
続いて多くの町民が見守るなかで、一斉に放水を披露、きびきびした動作と美しい水の放列に見物客から、どっと歓声があがりました。
再び会場を三股小に移し、講評、優良団員の表彰などがあり、正午すぎ散会しました。



【三股町消防団長表彰】
原田一彦、大山和義、坂元征男、川原利和、上水義一、隈元利秀、高木一博、釘元信一、東行雄、下村明、堤義男、森篤美、下沖幸雄、西村世都夫

表彰者次の通り
【県知事表彰】
竹田良彦、（感謝状）重久哲夫
【県消防協会会長表彰】
原安雄、原田好弘、久保重海
【消防協会都城支部長表彰】
桑畑和也、出水安美、山内和夫
（感謝状）重久哲夫
【三股町長表彰】
今村祐吉、山之内栄一、山之内吉平、朝倉兼利、山元信也、大河内清彦、潮崎裕治、桑畑古佐崎、山内幸忠、児玉清秋（感謝状）重久哲夫

春を迎える

二月という月は、俗に逃げる月といわれるくらい、日のたつのが早く、あっという間に三月を迎えることになりました。
進学、卒業、就職から農家では農作業への準備など、忙がしくなるのは目に見えてきました。
とくに進学するお子さんをお持ちのご家庭では、いまの受験制度を何とかしてやりたいものの一つですが、現状は、まだどうにも逃げられない宿命です。

文部省
教育モニターを募集

文部省では、広く国民のなかから教育モニターをお願いし、文教施策についての批判、要望、意見を聞き、文教行政の参考にしていきます。
●教育モニターのごこと
一年に三回程度、文部省がお送りする文書にご意見を記入していただきます。
●募集人員および依頼期間
依頼期間二年、この依頼するは三〇〇人（本県は五人）
●応募できる者
教育について関心があり、教育モニターとして仕事に熱意をもっている年令満二十才以上の日本国民です。
ただし次のかたは応募できません。
▽議会の議員
▽常勤の国家公務員および地方公務員（ただし教職員は応募できます）
▽国が任命した行政相談委員
▽かつて文部省教育モニターであった者
●謝礼等
謝礼は依頼した事項に対する報告一回について一、〇〇〇円（税込み）の。その他教育モニター会議にお出かけ願う場合は旅費が支払われます。
文部公報、広報資料等を発行のつど送付されます。
●申し込み期間
昭和四十七年二月二十一日まで
●申し込み先
宮崎県教育庁企画室
宮崎県教育庁企画室
※「教育モニター申込書」用紙の請求、および詳細は直接右記申し込み先へお願いします。

老後の生活は

農業者年金で!!

農業者年金とは、農業者の老後の安定と次代をなす優秀な農業後継者を、将来に希望と自信をもって、安心して農業にいそめるために出来た制度で、自立経営農家の育成、経営者の若返り、規模拡大の促進を目的としています。
●加入資格者の条件
強制加入 五〇歳以上の農業経営者、国民年金の被保険者であること、昭和四十六年一月一日現在で五十五才未満であること。
任意加入 五〇歳未満、三〇歳以上の農業経営者、農業後継者で三年以上農業に従事している者、国民年金の被保険者であること。

●保険料及び給付額

保険料納付期間	保険掛金額	給付金	月額給付金	月額給付金	
才	年	円	60~70才	65~70才	
55	5	147,000	1,002,000	8,000	8,700
40	20	426,000	2,088,000	16,000	18,800
35	25	519,000	2,562,000	20,000	22,700
30	30	612,000	3,036,000	24,000	26,600

但し60才で経営移譲した場合

【例】昭和46年1月1日現在で、55才、40才、30才未満の人が70才まで生きた場合、支給できる額及び掛金は上記表のようになります。

●注意事項

1、特に注意されたものは、昭和四十六年一月一日で五十五才未満である人の特別処置の期間があることとです。家族、知人近所に該当の人がありましたら、早く手続きされるようお知らせ下さい。
2、昭和四十七年一月二日以降に生まれた人は二十年以上農業者年金に加入しないと、資格はとれませんのでお知らせ致します



★どの家も笑顔がのぞく「家庭の日」。体を強くきたえましょう

2月の納税

固定資産税4期

宮崎県教育庁企画室
宮崎県教育庁企画室
※「教育モニター申込書」用紙の請求、および詳細は直接右記申し込み先へお願いします。

みんなの広場



二月のこよみ

- ▽ 四日 節分
- ▽ 五日 立春
- ▽ 十一日 建国記念の日
- ▽ 十五日 旧元日
- ▽ 十九日 雨水

新たな人生へスタート

— 成人者一六三人 —

去る一月十五日午前十時から三股小体育館で、成人式が盛大に開かれました。



ことしの町内成人者は百六十三人（男九十四人、女六十九人）で、男性はほとんどが背広姿でした。

が、逆に女性はあざやかな振りそで姿で、洋服の人は数えるほど。会場は華やかなふん囲気につつまれていました。大河内町長が「わが国は過去一世紀、幾多の苦難と戦いつつ封建的社会から脱皮して、今日の近代国家に成長してきました。しかし、現在日本の国内外情勢は多くの問題をかかえています。みなさんはわが国の将来

を背負って立つ、新たな自覚と責務をもちつらばな人間として成長されました。将来ますます知性をみがき、心身を錬磨し、優秀な若人として世界に限りなく伸びて下さい」と、あいさつ。
成人者を代表して山王原、楠和代さん（役場職員）が「盛大な成人式を挙げていただき有難うございました。本日いただきましたお言葉をしっかりと感じ、よく

き社会人として心身の錬磨と知識技能の研鑽に努め、社会の一員として日本の発展と郷土振興のために努力します」と決意を述べられました。
このあと一同は記念撮影。成人証書と記念樹を手にして、それぞれ希望を胸に秘め、成人者として新たな人生へスタートされました。

成人の日に寄せて

宮崎相互銀行勤務 橋口 順一 君

ご成人おめでとう
ございます。
成人の日は、大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝います。自分の判断力と行動力を必要とすることは言うまでもありません。社会となり、ひいては明日への豊かな社会をつくる原動力となつてほしいものです。
私も四年前に成人式に参列して、うれしさと不安でいっぱいでした。社会に出て、いかに厳しいものであるかは職場についてからでした。親から離れ、一人の人間として社会人としての生活、始まったので

ドイツの文学者ミラー博士はいっています。「時は三重である。現在は矢のように過ぎ、過去は永遠に立ち、未来はそこまで来ている」と。
このことで、私達は一日一日がいかに大事であるかが理解できます。一日一日に全力を傾けて、現在を精一杯に生きることで、いかにもむずかしいものではないか、また、私たち若者はとかく血気に走りがちです。熱しやすく、さめやすいというのでしようか、沈静な判断のものにいかなる難関もこの若さで、この誠実さで、三股魂をその時こそ發揮しようではありませんか。そしてその結果が人生の勝利者となり得るのだと私は信じております。
最後に私達は諸先輩の意を受けつき、それに反しないよう一生懸命頑張りましょう。

お知らせ

教職員住宅

ただ今入居者を募集中

ただ今、町道、勝岡・蓼池・桜木線沿い（こぼと保育所南側）に教職員住宅六戸が総工事費一、七二万円で建設工事も順調に進められています。完成は三月二十日。外観はほとんど出来あがり、完

成を間近にひかえた赤い屋根、青い屋根のくつきり浮き立つこの住宅は、教職につきさどる方々にふさわしい住いとして、最適な条件を備えています。
一般住宅に比較して部屋数も多く、落ち着いたふんいきの中に、家庭のくつきりも一段とろをそえる近代設計がなされています。
※募集期日
昭和四十七年三月末日まで

※住宅の場所
三股町大字蓼池二、三八一番（こぼと保育所南側）

※住宅の部屋数
六畳・四、五畳・応接室・台所風呂・便所

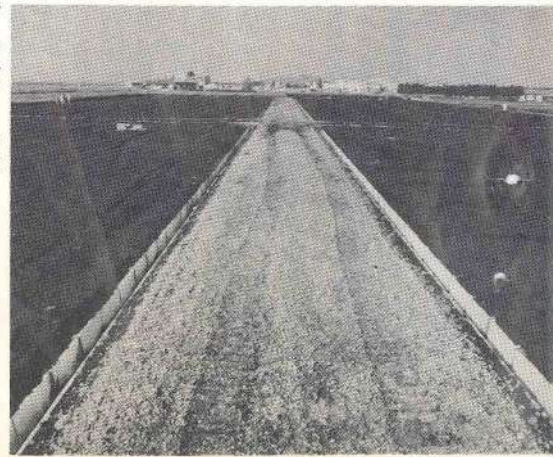
※入居できる日
昭和四十七年四月一日
教職員を対象とするもので、家賃、その他、詳細については三股町役場建設課住宅係にお問い合わせ下さい。



▲完成も間近い教職員住宅

住民に安い宅地を分譲

— 取得の手続きは早目に —



三股町開発公社では、ただ今、宅地の分譲を行なっています。この分譲地は三股町大字蓼池字南原、総面積一五、〇〇〇平方メートル、国道二六九号線の東側に位置し、交通の便もよく、しかも緑に広がるベッドタウンとして住まいの環境条件は満点。

だれでも、たやすく取得できるように、一区画を約三五〇平方メートル（一〇五坪）に整地してあります。
なお、三股町大字宮村字植木、県道坂元線沿いの総面積五、〇〇

〇平方メートルも、一区画を約三五〇平方メートル（一〇五坪）に整地し、同時に分譲しております。

整然とした区画と、道路も縦横に整備されたこの分譲地は、静かな中に清く澄んだ空気は公害からは程遠く、子どもからおとなまでのマイホームの価値を十分に備えています。
ご希望の方は、早目に三股町役場内三股町開発公社にお申し込み下さい。

清潔な環境づくり

最近、わたしたちの日常生活の中で特にクローズアップされている問題として、過密都市、工業都市を問わず最大の問題は、都市が人の住む場所でなくなり、単に物を生産する場になりつつあることです。まして、いこいの場など思いもよらない現実と化しつつあります。

大気汚染、水質汚染、騒音、振動、悪臭など、ありとあらゆる公害現象は都市といわず、既に県内いたるところに波及し、関係機関は頭を悩まし、その対策に慎重な調査、分析など科学的な究明がなされています。

わたしたちの町は、地理的にも環境的にも公害問題を引き起こす要因には程遠く「都市づくりと公害」の究極の立場に追いつめられているとはうらやましい限りです、働きやすさ、いこいのある町

をめざして住民優先々人間優先々の施策は順調な歩みを見せています。

しかしながら、本町で現在、特に周知と協力を願ひ、徹底した環境整備しなければならない問題として、ゴミと危険物の処理があります。各家庭から毎日廃出されるゴミと危険物。町が指定した置場には、廃出物も区別され、いままに山積されているのが現状。大事にいたらないまでも、こうした取り扱いの不認識と郷土愛に欠けたことが、即ち、どうにもならない公害へと発展していくのではないのでしょうか。

清潔な環境づくりは、個人が果たすべき役割と責任が必要であることを再確認していただき、町民意識を高め公害締め出しの成果をおさめていただきたいと思います。

ゴミと危険物の取り扱い

確実にしましょう

三股町環境保健課では、ゴミと危険物の処理について、つぎのとおり呼びかけています。

●ゴミ・危険物は、町が指定した

町民税の申告と相談は 指定期日に致しましょう

今年もいよいよ昭和四十七年度分の町民税申告をしていただく時期になりました。

日頃、ご多忙な日々を過ごしていらっしゃる皆さんが、気軽に申告していただくために、係では各部落に外出して申告のご相談に際すことにいたしました。指定期日には必ず申告をすませて下さい。

※当日、仕事の都合などで申告できない方は、三月十三日役場税務課で受け付けます。

三月十五日まで申告されないで、当然、差し引かれるはずの各種控除が認められませんので、大変損をすることになります。

町民税の申告・相談日

期日	曜日	時間	区域	受付場所
二月十一日	月	九時～十六時	三地区	四支店
二月十二日	火	九時～十六時	四地区	五支店
二月十三日	水	九時～十六時	五地区	六支店
二月十四日	木	九時～十六時	六地区	七支店
二月十五日	金	九時～十六時	七地区	八支店
二月十六日	土	九時～十二時	八地区	九支店

場所には必ず持ち運んで下さい。●ゴミ・危険物は一緒にしないで、町があつせんする袋に、別々に入れて下さい。

◎ゴミとは、燃えるもの（残飯等を含む）よく水をきって下さい。

◎危険物とは不燃性のもの（瓦、

三股町は明治十一年町村編成法が公布されるまで三股郷と称し、榊山村、長田村、薮池村、餅原村、宮村（みやそん）の

統一変更

五つの村からなっていた。したが、当時、郷長が事務の管掌にあたっていたというところですが、公布と同時に大字名称中「村（そん）」を削除、以後は、大字榊山、長田、薮池、餅原、宮村に変わりました。

た。戸籍もこれに基づいて記載され、また、わたしたちも日常生活の中で常に生活の本拠地である大字「……」は欠くことのできない住所表示の一つとして用いられています。

大字「宮」を「宮村」に統一変更

しかしながら、土地台帳、土地登記簿をご覧になった方はお気づき

セメント類は除く）【収集日】ゴミは毎週月曜日。危険物は毎月一日と十五日が収集日となっていますから、その前日に必ず持ち運んで下さい。

— 八環境保健課 —

このことは書類上のことですが行政面で非常に支障をきたしており、これを統一するために、昨年十二月町議会で議決、県知事に申請されていましたが、次の通り変更が告示されました。関係地域の方々は勿論、間違いないようよろしくお願ひします。

宮崎告示第一二四七号
昭和四十七年一月一日から三股町の字の名称を次のとおり変更する
昭和四十六年十二月二十八日
宮崎県知事 黒木 博樹

大字宮を大字宮村に変更する

期日	曜日	時間	区域	受付場所
二月二十八日	月	九時～十六時	一地区	八支店
二月二十九日	火	九時～十六時	二地区	九支店
三月六日	日	九時～十六時	三地区	一〇支店
三月七日	火	九時～十六時	四地区	一一支店
三月八日	水	九時～十六時	五地区	一二支店
三月九日	木	九時～十六時	六地区	一三支店
三月十日	金	九時～十六時	七地区	一四支店
三月十一日	土	九時～十六時	八地区	一五支店
三月十三日	月	九時～十二時	八地区	一六支店

軽自動車税の申告は 確実にしましょう

確実にしましょう

最近の車ブームは、わたしたちの日常生活の中で欠くことのできない足となっており、

運転する人は、常に運転規則を守り、無事故を願うと同時に、税に関する知識と義務を忘れてはなりません。

cc、耕運機を購入、廃車、または業者に売買された時は、本人が確実に申告するように致しましょう。軽自動車は毎年四月一日現在で

課税されます。

※車を新たに購入したとき印鑑持参、標識（鑑札）の交付を受ける。

※車を廃車、または他に売買されたとき、

印鑑、標識を必ず持参の上、手続きをすませて下さい。（注）四月以降に手続きされるとき、一年分を納めていただくことになり、大変損をすこととなります。

昭和四十七年二月一日発行

第八十九号

県立都城農業高校

老人ホームを慰問

県立都城農業高校(伊地知重基校長)では、生活科三年生・プラスバンド・生徒総務、代表奥正明君ほか50人が、去る1月22日三股町老人ホームを慰問しました。

毎日、実践社会の中堅としての知識の習得に精出す農業高校生。

慰問は高校生らしい挨拶と紹介にはじまり、昔なつかしい異国の丘、郷土民謡の数々をバンド部が披露、それに合わせて女生徒の肩たたきなど最高のサービスぶりに、としよりたちは目をほそめながら終始「有難う、有難う」の連発でした。

生徒たちは、ただ、社会福祉に少しでも役立てば……と、言葉少なげに語る中にも、明日への希望と若さがいっぱい。としよりの高校生の心うきうきした若さに引かれて、余興も出るなど、たのしい午後のひとときを一緒になって過ごしました。



善意の寄贈
 都城市一萬城町、荒川イネさん(前県生活改良普及員)から、三股町龍雲塾の学習に役立ててくださいと、金三万円の寄贈がありました。
 塾生の学力向上をのばすために、参考書などの購入費にあてさせていただきます。
 塾生をはげます寄贈に心から感謝申し上げます。

三股町の人口

1月1日現在

前月より

男	7,014人	+ 16
女	7,924	+ 11
計	14,938	+ 27
世帯数	4,248戸	+ 11

三股町長 大河内 利雄

昭和四十六年十二月七日

地域	大字	字	地番	面積	理由
三股	三股	三股	一、一七五	九五九	鶏舎建築のため
三股	宮	三股	一、一七六	九九一	畜舎(肉用牛)建築のため
三股	小鷹原	三股	一、一七七	九九一	畜舎(肉用牛)建築のため
三股	上鷹	小鷹原	二、〇二七	三、三八五	畜舎(乳用牛)建築のため
三股	上鷹	小鷹原	二、四九一	一、〇〇四	畜舎(乳用牛)建築のため

記

三股町告示第四二号
 三股農業振興地域整備計画を変更するので、農業振興地域の整備に関する法律(昭和四十四年法律五十八号)第一二条の規定により告示し、当該農業振興地域整備計画のうち、農用地利用計画の変更を次により従覧に供する。